

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称	〔48〕 東京都台東区立今戸社会教育館					
指定管理者の名称	アズビル株式会社	指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等					
(2)類似施設の管理実績	東京都北区滝野川体育施設他35施設					
(3)経営状況	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益(単位:百万円)			
	24年 59,785	48,150	11,634			
	25年 61,887	49,624	12,263			
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区今戸2-26-12(今戸住宅2F)					
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3)利用者	主に社会教育関係団体。					
(4)開館日・時間	開館日:火～日曜:9:00～22:00 月曜:13:00～22:00 休館日:年末年始(12/28～1/4) 設備点検日					
(5)規模	ホール:50名(107㎡) 和室:30名(66㎡) 第一会議室:30名(55㎡) 第二会議室:40名(57㎡)					
(6)人員体制	週40時間勤務 5名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施					
(2)自主事業	5講座実施 延べ11回 延参加人数 143人					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	15,490,000	15,595,000	15,888,000	19,230,000	19,100,000
	利用料金収入	1,100,000	1,160,000	1,300,000	1,000,000	1,040,000
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,590,000	16,755,000	17,188,000	20,230,000	20,140,000
決算	委託料	15,490,000	15,595,000	15,888,000	19,230,000	19,100,000
	利用料金収入	890,290	1,058,746	1,098,430	1,279,175	1,222,800
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,380,290	16,653,746	16,986,430	20,509,175	20,322,800
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
年間開館日数		日	342	343	339	340
自主事業等講座数		講座	20	19	17	14
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度
利用率		%	32.0	28.8	32.0	30.5
利用人数		人	20,000	18,795	19,463	17,624

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み				
<p>「オリジナルブックカバー」や「子ども陶芸体験講座」など、地域の工芸や産業、歴史を教材とするとともに、地域の人材を活かした講座を開催した。新規参加者率や20～30代の若者世代の参加率が増加するなど、地域のニーズを反映した講座を実施している。</p>				
<p>8. 評価項目</p> <p>3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。</p>				
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [2] [2] [2] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)管理経費の効率化	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]
<p>9. 評価</p> <p>S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。</p>				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	親子対象講座だけでなく若年世代にニーズのある講座にも託児サービスを行い、子育て中の方が参加しやすいよう利用者サービスの向上に努めている。		
(2)施設の維持管理	A	点検等については、年度計画・月次工程に基づいて適切に実施し、必要な修繕を行っている。また、施設の危険箇所を洗い出し、速やかに防護策を講じるなど、利用者の安全に努めている。		
(3)利用者の満足度	A	熱中症防止のため、温湿度計や冷たいタオルを設置・常備しており、安心して施設を利用できるとの声が多かった。また、地域の人材を活用した講座が参加者から好評を得ている。		
(4)収入支出	A	こまめな節電に努めるとともに、館内の小修繕は職員が行うなど経費節減に努力している。		
<p>10. 総合評価</p> <p>良好 妥当 要努力 要改善 不適</p>				
妥当		館全体の利用率・利用人数は減少したが、ニーズに対応した講座の実施により、新規参加者率や若年世代の参加率は増加している。利用者の安全と安心に配慮した環境整備など、適切な施設運営を行っている。		
<p>11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応</p> <p>若年世代の方や子育て中の方が参加しやすい講座を実施し、利用者の増加に繋げていく。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、多様な言語や文化、オリンピックについての理解や親しみを深める講座の充実を図る。</p>				